



ことばのせつめい

あ

あかし ただ かんが ぶくいなが正しいと考えること、またはそれを人びとの前で話すこと。

あれ野 ひと としがなく、人びとがすんでいないところ。

い

いさましい ただ し 正しいことを知って、それをどうどうとまもること。



いし いし 石なげき 石をなげるためのぶき。

石をなげつける ひと いし しぬまで人に石をなげつけること。

いのちの木 き リーハイのゆめにあらわれた神のあいをあらわす木。

いのる かみ はな 神と話すこと。かんしゃをのべ、しゆくふくをおねがひする。

いましめ ひと かみ おこな 人びとがしあわせになるために、神から行うように言われたこと。

いやす ひと ひと もと びょうきの人やきずついた人をよいじょうたい、または元どおりにすること。

う

ウリムとトンミム かみ よげんしゃがほんやくし、けいじをうけるためのたすけとして、神がおあたえになったとくべつなどうぐ。

え

えいえんのいのち かみ えいえんに神とともにすむこと。

お

お主 おう ひと 人びとをおさめるしどうしゃ。

か

かいいん きょうかい 教会またはグループに入っている人。

かいどう ひと かみ 人びとがあつまって神をれいはいするたてもの一つ。

き

ぎ かみ こころ 神のみ心にしたがうこと。ぎにかなう人びとは神のいましめにしたがう人びとのこと。

ききん あめ 雨がふらなくて、さくもつがそだたないために、食べものがなくなること。

ぎしき バプテスマやせいさんなど、れいてきないみがあるしんせいなきしき、または行い。

ぎせい かみ 神にしたがうために大切なものを何かあきらめること。

きせき かみ ちから 神の力をしめすふつうにおこらないようなできごと。



きんぱん

きんぱん きん うすい金のはんに書かれたきろく。モロナイはきんぱんをクモラのおかにかくした。後にジョセフ・スミスはきんぱんをとり出した。

く

くろうそう ひと 人びとがおがむ神でないもの。

くいあらためる ただ おこな かんが 正しくない行いや考えをかなしんで、それをくりかえさないとやくそくすること。

くわわる グループに^{はい}入ること。

ぐんぜい たたかうためのくんれんをうけたへいしたち。

こ

ころも ^{なが}長く、ゆったりとしたふく。



こんぼう

こんぼう どうぶつや人^{ひと}をたたくためにつかうぶき。

さ



さいだん

さいだん どろや石^{いし}をつみ上げて^あつくしたしんせいなところ。神^{かみ}にいのりやいけにえをささげるためにつかわれた。

さけによろ アルコールのみものをのみすぎたために^{からだ}こころをじゆうにできなくなる^{こと}。

さばきつかさ ほうりつやいましめがどのようないみか^{かんが}を考^{かんが}えてそれをきめたり、人^{ひと}びとがどのようにほうりつやいましめをまもつたらよいかをきめるしどうしゃ。

さばきつかさのしょく ニーファイ人^{じん}のせいふでさばきつかさがしめて^しめる^める^るたちば。

し

じげん けいじがあたえられる^{ひと}一つのほうほう。

したがう たのまれたことやめいじられた^{おこな}ことを行う^{こと}。

しどうしゃ 人^{ひと}びとをみちびく人^{ひと}。

しもべ 王^{おう}などのえらい人^{ひと}のためにほうししたり、はたらいたりする人^{ひと}びと。

じゆう 自分^{じぶん}でえらびができる^{こと}。



じゆうのはた

じゆうのはた しれいかんモロナイ^{ひと}が人^{ひと}びとにじゆうをまもるようはげますためのことばをころもに^かつ^{つく}書いて作ったもの。

じゃあく 神^{かみ}がきらうこと。あくにんはサタンをあいし、神^{かみ}のいましめをまもらない。わるいこと。

しゆくふくする その人^{ひと}にとってよいものをあたえること。せいさんをしゆくふくすることは、イエス・キリストのしょうちょうであるパンと水^{みず}をうけ入れて^いくださるよう神^{かみ}におねがいすること。

しれいかん ぐんたいのしどうしゃ。

しんけん 神^{かみ}のみ名^なによって^{おこな}ちから^{ちから}で行う力^{ちから}。

しんこう イエス・キリストをしんじること。

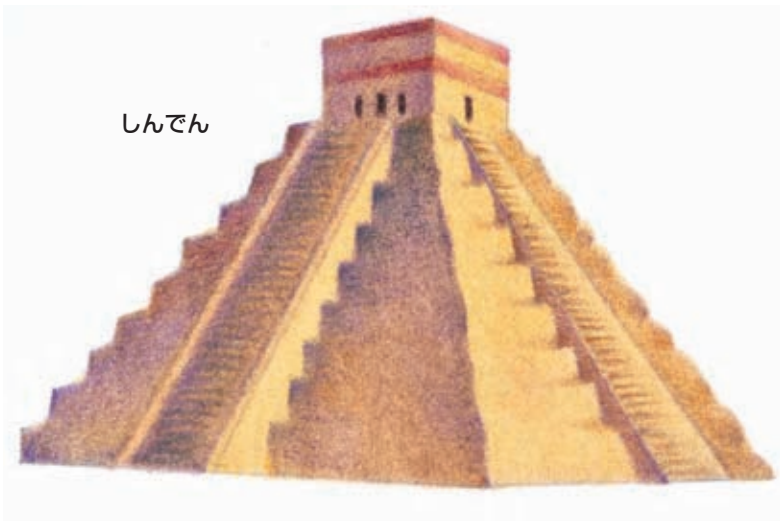
しんじつ じっさいにおきた^{ただ}ことがら、または正しい^{ただ}ことがら。



しんちゅうのはん

しんじる ^{なに}何が^{ただ}正しいことをかんじる、または知ること。

しんちゅうのはん ^{リーハイのせんぞに}神が^{あたえられた}いましめと^{人びとの}きろく。



しんでん

しんでん ^{かみ いえ}神の家。

せ

せいさん ^{しんけんをもつ}だんせいが^{人びと}のために^{パンと水}をしゆくふくするぎしき。せいさんは^{人びと}にイエス・キリストを^{おも}いおこさせる。



せいになする

せいになする ^{しんけん}の^{ちから}と^{けん}の^うを^{あたえ}ること。

せいやく ^{かみ}神と^{ひと}の^{あいだ}で^{むす}ぶ^{やく}と^{そく}。

せいいいに^みた^される ^{せいいい}が^{ひと}の^{かんが}え^や心^に正^{ただ}しいことを^つげ^てく^ださ^ること。

せんきょうし ^{ひと}人^{びと}に^{イエス・キリスト}の^{ふくいん}を^{おし}え^る人。

た

たいいい ^{レーマン人}が^神に^{つけた}名^な前。

たたかい ^{てき}や^あいての^{ぐん}たいと^あら^そう^こと。

たて ^{つるぎ}や^その^ほかの^ぶき^から^へい^しの^じょう^はん^しん^をま^もる^ため^のよ^ろい。

たてる ^{なに}を^つく^る、^また^はく^みた^てる。

だんじきする ^{みたま}の^たす^けを^える^ため^に食^べも^のや^みず^をと^らな^いこ^と。

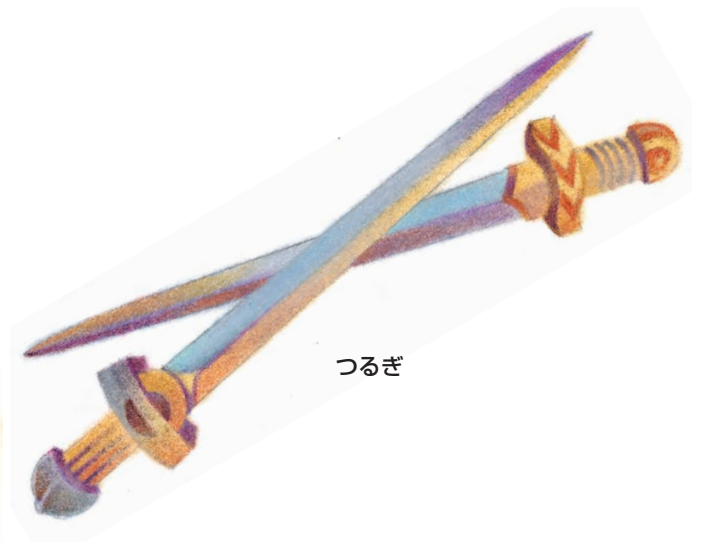
ち

ちから ^{ぜん}の^{ちから}、^また^はあ^くの^{ちから}。神^{かみ}から^あた^えら^れる^とく^べつ^なた^すけ^や強^{つよ}さ^のこ^とを^いう^こと^がし^ばし^ばあ^る。

ちゅうじつ ^いつ^もい^まし^めに^した^がう^こと。

つ

つみ ^いま^しめ^をや^ぶる^こと。



つるぎ

つるぎ ^{たた}か^いで^てき^を切^きつ^たり、^さし^たり^する^ため^につ^かう^なが^いき^んぞ^くの^はも^の。

て

てし ^{イエス}に^した^がい、^{イエス}の^よう^にな^らう^とど^りよ^くす^る人。

てつぼう ^{リーハイ}が^ゆめ^で見^みた^神の^こと^ばを^あら^わす^しょう^ちよう。

てんこく ^{てん}父^とイエス・キリスト^がす^んで^おら^れる^こと^ろ。

てんし ^神か^らの^つか^い。

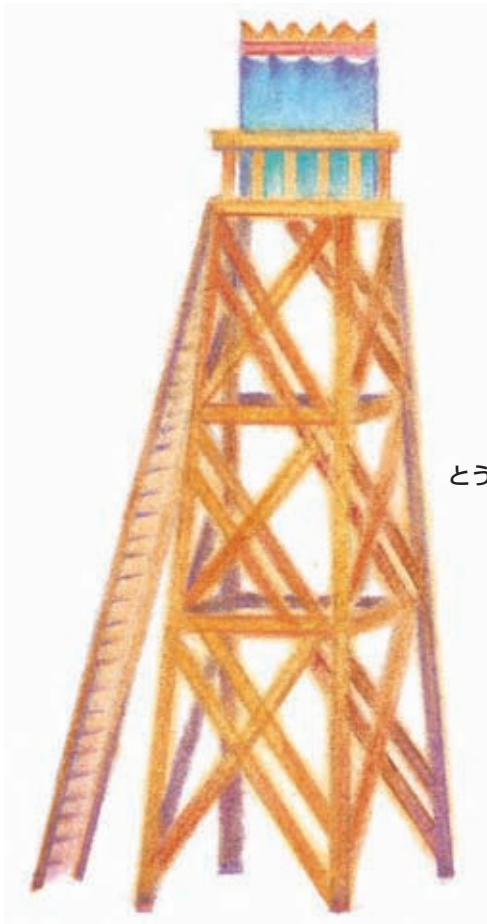
と

とう ^人び^とが^たつ^こと^がで^きる^たか^いた^ても^の、^また^は台。

あたまの^{かわ}を^はぎ^とる ^人の^あたま^のか^わの^ぶぶ^んを^きり^とる^こと。

どれい ^人び^との^ため^にむ^りや^りは^たら^かさ^れる^人び^と。

どれいの^じょう^{たい} ^じゅう^にで^きな^いじ^{ょう}た^いで、^だれ^かの^ため^に一^{いち}日^に中^{ちゅう}は^たら^くこ^と。



とう



バプテスマ

ぬ

ぬすむ ほかの人のものをとること。

の

のがれる 人からはなれること。

は

はかりごと だれかをふこうにするためにわるいけいかくを立てること。

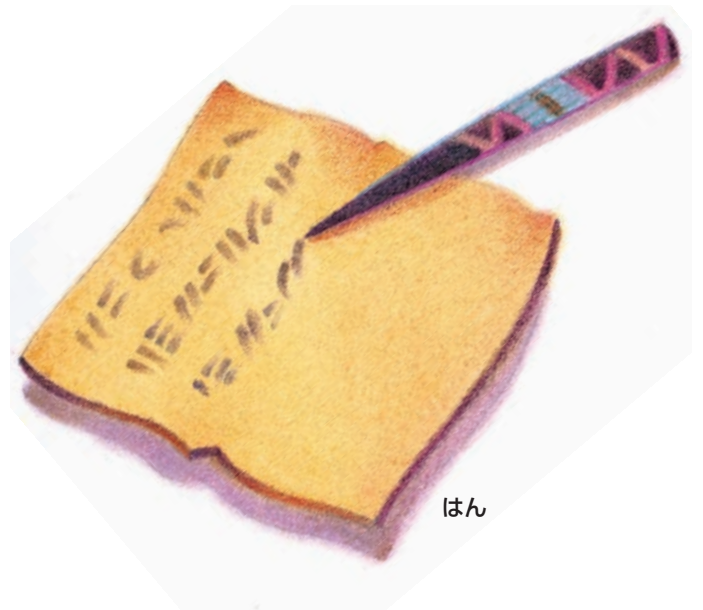
はくがいする だれかをためしたり、きずつけたりするためにうそを言うこと。

ばつをあたえる 人によくないことをもたらすこと。神にしたがわない人びとはばつをあたえられることがよくある。

バプテスマ 神からけんのうをあたえられた人が、バプテスマをうける人をかんぜんに水の中にしずめてからふたたびおきあがらせるぎしき。イエス・キリストの教会のかいいんになるためにはバプテスマをうけなければならない。

はかいする 町やいのちなどがかんぜんになくなること、またはあれはてること。

はりつけにする 人をじゅうじかにくぎでうちつけてころすこと。



はん

はん 神の教えと人びとのれきしが書かれているうすいきんぞくのいた。

はんこうする いましめやめいじられたことにしたがわかないこと。

ふ

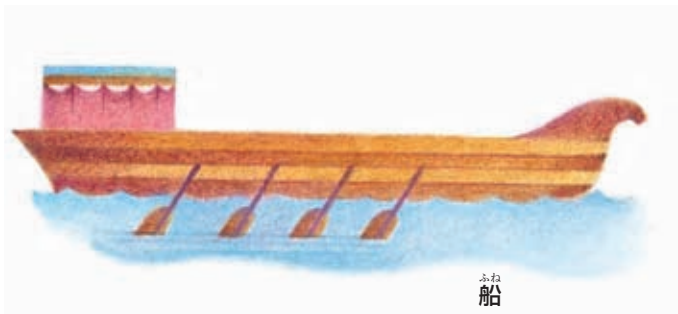
ぶき つるぎやりのように、ほかの人びとをきずつけたり、ころしたりするためにつかわれるもの。

ふつつする 生きているじょうたいにもどること。



ぶぐ

ぶぐ へいしがたたかいで体^{からだ}をまもるためにきるもの。
 ふくいん イエス・キリストの教え。



ふね船

ふね 海^{うみ}にうかぶのりもの。人^{ひと}びとやにもつをはこぶためにつかう。

へ

へいし ぐんたいでたたかう^{ひと}人。
 へいわ おだやかなきもち、またはせんそうがないじょうたい。
 へりくだる 神^{かみ}のみ心^{こころ}を聞いて、それを行おうとする^{おこな}こと。

ほ

ほんやくする ^{ひと}一つの国^{くに}のことばを^{ほか}の国^{くに}のことばにかえること。

み

みみ 耳^{みみ}の聞こえないもの ^き聞くことができない^{ひと}人。

も

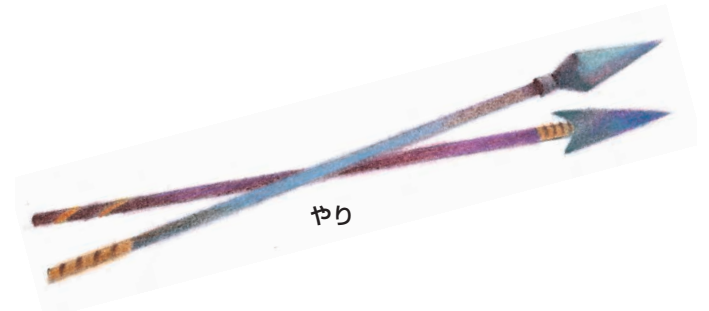
もうじん 目^めが見えない^{ひと}人。

や



や矢

や 矢^や どうぶつをとったり、たたかったりするためにつかうぶき。するどいほさきがついている。
 やくそく 何か^{なに}を行う、または何か^{なに}のじょうたいをなしとげること、またはやくそくすること、またはけっしんすること。



やり

やり つきさすためにつかう、するどいほさきがついたぼう。

ゆ



ゆみ弓

ゆみ 弓^な 長い^{なが}ぼうのりょうはしにつるをはって、矢^やをとばすためにつかう。
 ゆめ 人^{ひと}がねむっている間^{あいだ}に心^{こころ}の中^{なか}でけいけんするものがたり。
 ゆるす 人^{ひと}からいやなことをされてもそれをわすれて、その人^{ひと}をあいすること。

よ

よげん できごとがおきる前にそれについて話すこと。

よげんしゃ 神のみ心を人びとに話すよう神からめされた人。

よろこびのおとすれ きぼうとやすらかなきもちがあたえられる、
神のことば。

り



リアホナ

リアホナ あれ野にいた時にどのほうこうへ行くべきかをしめすために神がリーハイのかぞくにおあたえになったしんちゅうのたま。

リアホナはリーハイのかぞくが正しいことを行う時だけうごいた。

りかいする 考えを知る、または分かること。

れ

れいはいする 人やものをおがむ、またはしたがう。

ろ

ろうや つみをおかした人びとをとらえておくためのばしよ。